

第二期  
小平市国民健康保険データヘルス計画  
に基づく保健事業実施状況報告書  
(令和2年度実績)

令和3年9月  
小平市  
(小平市国民健康保険)

# 目次

1 特定健康診査	…… 2
1-1 特定健康診査受診勧奨(通知送付)	
1-2 集団健診	
1-3 人間ドック助成	
1-4 職場の健診結果提出	
2 がん検診	…… 11
3 健診異常値放置者受診勧奨	…… 13
4 特定保健指導	…… 15
5 糖尿病重症化予防指導	…… 18
5-1 重症化予防プログラム	
5-2 重症化予防プログラム未参加者への受診勧奨	
6 多受診者指導	…… 24
7 ジェネリック医薬品差額通知	…… 27
8 第二期データヘルス計画の実績	…… 29

# 1 特定健康診査

## ●事業と目標

実施事業・事業概要・目的	対象	目標	
		事業実施量(アウトプット)	結果(アウトカム)
1 特定健康診査			
特定健康診査受診勧奨(通知送付) 未受診者に通知を送付し、受診勧奨を行います。	①40歳の新規特定健診対象者から抽出 ②40～60歳代のうち前年度特定健診未受診者	勧奨通知送付回数 年1回	送付後の受診率 20%
集団健診 当該年度未受診者に対し、集団健診の受診勧奨を行います。	40歳～74歳の被保険者	勧奨通知送付回数 年1回	受診者数 600人
人間ドック助成 人間ドックの受診者に補助金を出します。	30歳以上の人間ドック受診者	申請件数 600件	-

## 1-1 特定健康診査受診勧奨(通知送付)

### ●事業内容

40代から60代までの若年層の特定健診受診率が低いことに着目し、令和2年度に40歳になり特定健診の対象者となった被保険者及び前年度の特定健診未受診者に対し、通知による受診勧奨を行った。

### ●対象者(前年度特定健診未受診者)

特定健診未受診者に対する受診勧奨については、令和元年度から人工知能技術を活用し、過去3年間の受診行動(健診結果・問診票)を分析することで、勧奨効果の高い対象者を選定した。選定の結果、前年度未受診者に加え、過去3年間に不定期に健診を受診している不定期受診者に対する勧奨効果が高いと判断し、対象者としている。

また、対象者の健康意識についても分析を行い、その特性毎に4つのセグメントに分類、セグメント毎に効果の高いメッセージやデザインを活用し、通知文書を発送している。

#### 【健康意識に合わせた対象者の分類】

<p>セグメント A 頑張り屋さん</p> <p>日々健康に気を遣っているため病気になる心配をしておらず、健診に行く意義を感じていないタイプ</p>	<p>セグメント B 心配性さん</p> <p>将来病気になることをとても心配しており「健診に行く」と怖い病気が見つかりそうだから行きたくない」と思っているタイプ</p>
<p>セグメント C 甘えん坊さん</p> <p>不健康である自覚はあるが、いまの生活に幸せを感じており、積極的に改善しようとは思っていないタイプ</p>	<p>セグメント D 面倒くさがり屋さん</p> <p>自分のことを健康だと思っており、健康に関する情報・健康診断に興味がないタイプ</p>

● 勸奨通知発送件数及び評価

① 40歳の新規特定健診対象者に対する通知

通知数 (件)	通知後に 受診した数 (件)	受診率 (%)	目標値 (%)	目標達成率 (%)
388	107	27.6	20	138.0

【新40歳に送付した通知】

40歳になるみなさまへ

**特定健診(無料)を受診してください!**

特定健診とは…生活習慣病の予防・早期発見のための健康診査です。  
40歳～74歳の人を対象に毎年実施しています。  
受診する方法…6月下旬に健康診査のご案内(受診票・問診票)をお送りします。  
案内が届いたら、最寄りの医療機関で忘れずに受診してください。

Q. 忙しくて受診する時間がない…  
Q. 確診って高いのでは?  
Q. 健康だから大丈夫!  
Q. 太っていないから関係ない

A. 近隣市を含む複数の医療機関で受診できます。土日や予約不要で受診できる医療機関もあります。  
A. 特定健診は、無料です!  
(※個人で追加した検査項目を除く)  
A. 毎年の健診で定期的にチェックが必要です。生活習慣病は自覚症状がないうちに進行します。  
A. 太っていないけれども、高血圧や高血糖、脂質異常など病気が隠れている場合があります!

特定健診を受診すると…

**病気の芽を早期に発見できます!**  
**早期に治療することで医療費が安く済みます!**  
**毎年受けることで、体の変化に気づきやすくなります!**

**40代から気をつけたいポイント**

毎年健診を受ける。  
健診結果から生活習慣を見直す。  
適正体重を維持する (BMI≦22)  
BMI=体重kg÷(身長m)<sup>2</sup>

禁煙、節酒。  
1週間に2日は休肝日

十分に睡眠・休養を。  
心身の悩みは早目に相談機関や専門医に相談。

主食・主菜・副菜をそろえ、1日3回食べる。  
薄味で減塩。  
油や脂肪の取りすぎに注意。

毎日今よりも10分多く歩く。  
エレベーターを使わず階段を。  
体を使う家事をこまめに。

特定健診以外にも、人間ドック利用費補助・職場の健康診断結果の提出があります!  
年に1回ご自身の体の状態を必ず確認しましょう!

	特定健診	人間ドック	職場で健診を受けた
対象	年度末時点で40歳～74歳の方 75歳の方の一部 ※年度始めから国保に引き続き加入している方	受診日時点で30歳から74歳までの方	年度末時点で40歳～74歳の方 ※年度始めから国保に引き続き加入している方
受診方法	6月下旬に届く医療機関一覧の中から受診する医療機関を選ぶ	受診を希望する医療機関に直接申し込み	職場などの健康診断に申し込み
受診期間	7月1日～10月31日	1年中	職場などに問い合わせてください
費用	無料	病院の定める料金	職場などに問い合わせてください
小平市へ届出	不要	必要※ 受診日の翌日から1年以内に申請すると 上限10,000円を助成	必要※ その年度の3月末までに届け出ると指定ごみ袋をプレゼント

※1. 労務費引当金等補助金に限りお受けできません。

皆さまが納付された貴方の国民健康保険料を財源としています。  
1年度あたり1つのご申請をお願いします。  
上記事業は国民健康保険に加入している方のための取組です。

小平市 保険年金課国民健康保険担当  
〒187-8701 小平市小川町2丁目1333番地  
電話 042-346-9529

② 前年度特定健診未受診者

対象者	通知数 (件)	通知後に 受診した数 (件)	受診率 (%)	目標値 (%)	目標達成率 (%)
前年度未受診者	1,500	525	35.0	20	175.0
不定期受診者	2,500	1,465	58.6		293.0
合計	4,000	1,990	49.8		249.0



C 甘えん坊さん

### 特定健診受診までの流れ

【受診期間】  
**令和2年10月31日(土)まで**  
9月以降は毎年大変混み合います。受診はお早めに。

**Step1 医療機関を選ぶ**

ご希望の医療機関を  
中面よりお選びください。

**Step2 電話で申し込む**

医療機関に直接電話で  
お申し込みください。

**健診費用：無料**

— [ 当日の持ち物 ] —

① 質問票 ② 受診票 ③ 保険証  
④ がん検診の受診票 (がん検診を同時に受診する方)

※質問票や受診票がお手元にない場合は再発行可能ですので、事前に小平市 健康福祉部 健康推進課(電話)または各医療機関へお問い合わせください。  
※この案内は、6月時点のデータをもとに作成しています。行き違いの可能性があります。

「医療機関リスト」は中面へ

### 小平市の特定健診

健診後はどうするの？

健診の結果、対象となった方は  
**【特定保健指導】が  
無料で受けられます。**

対象となった方には個別にご案内が届きます。

無理をしないで、数値を正常に  
戻すお手伝いをいたします。



3～6ヶ月間の継続的支援を行います。

あなたの生活スタイルにあわせて、保健師や管理栄養士などの専門職が、健診データを改善するための食事や運動に関するアドバイスをし、具体的な行動目標や計画を立てます。  
※特定保健指導は、生活習慣の乱れによって引き起こされる病気がある方を  
受けるための支援プログラムです。

検査時間は？

かかる時間 = 約 **1** 時間。

苦しい検査はありません。時間もわずかです。

血液検査
血圧測定
尿検査
身体測定
問診・診察

血液検査と尿検査を中心とした健診です。糖尿病、高血圧をはじめとする、長期治療が必要な病気の兆候・リスクを詳しく調べます。  
※重症状態等により、健診にかかる時間が前後する場合があります。

健診費用は？

かかる費用 = **0** 円。

病気の兆候を発見する検査がまとめて受けられます。

糖尿病・脂質異常症・腎臓病・肝臓病・その他の病気  
個人で受けると約10,000円かかる検査ですが、国民健康保険加入者の  
方は、小平市が健診費用の全額を負担します。  
※項目を追加した場合は費用は自己負担となります。

D 面倒くさがりやさん

### 特定健診受診までの流れ

【受診期間】  
**令和2年10月31日(土)まで**  
9月以降は毎年大変混み合います。受診はお早めに。

**Step1 医療機関を選ぶ**

ご希望の医療機関を  
中面よりお選びください。

**Step2 電話で申し込む**

医療機関に直接電話で  
お申し込みください。

**健診費用：無料**

— [ 当日の持ち物 ] —

① 質問票 ② 受診票 ③ 保険証  
④ がん検診の受診票 (がん検診を同時に受診する方)

※質問票や受診票がお手元にない場合は再発行可能ですので、事前に小平市 健康福祉部 健康推進課(電話)または各医療機関へお問い合わせください。  
※この案内は、6月時点のデータをもとに作成しています。行き違いの可能性があります。

「医療機関リスト」は中面へ

### 小平市の特定健診

受診方法は？

面倒な手続きなしで  
受けられます。

◎ 当日の持ち物はこれだけ

① 質問票  
② 受診票  
③ 保険証  
④ がん検診の受診票 (がん検診を同時に受診する方)



ご不明な点がありましたらお問い合わせください。

小平市 健康福祉部 保険年金課  
**☎ 042-346-9529**  
( 平日8:30～17:00 )

検査時間は？

かかる時間 = 約 **1** 時間。

苦しい検査はありません。時間もわずかです。

血液検査
血圧測定
尿検査
身体測定
問診・診察

血液検査と尿検査を中心とした健診です。糖尿病、高血圧をはじめとする、長期治療が必要な病気の兆候・リスクを詳しく調べます。  
※重症状態等により、健診にかかる時間が前後する場合があります。

健診費用は？

かかる費用 = **0** 円。

病気の兆候を発見する検査がまとめて受けられます。

糖尿病・脂質異常症・腎臓病・肝臓病・その他の病気  
個人で受けると約10,000円かかる検査ですが、国民健康保険加入者の  
方は、小平市が健診費用の全額を負担します。  
※項目を追加した場合は費用は自己負担となります。

# 1-2 集団健診

## ●事業内容

特定健診の受診期間（7月～10月）に健診を受診できない人を対象に、小平市健康センターを会場とした集団形式の健診（集団健診）を実施した。令和2年度は、1月と2月に5日間実施した。

集団健診の実施にあたり、9月に特定健康診査の未受診者に対して、特定健診の受診勧奨と、集団健診の案内を同時に発送した。また、市報にて集団健診の周知を行った。集団健診の申し込みは、本案内の返信用はがきと電話で受付を行った。

## ●勧奨通知の送付の状況

9月18日に、22,961件送付を行った。

【特定健診受診勧奨通知及び集団健診申込】

**特定健診(個別)申し込みの流れ**  
【受診期間】令和2年10月31日(土)まで

**Step 1 医療機関を選ぶ**  
パソコンから 小平市 特定健診 検索  
6月下旬にお送りした受診票(封筒)に入っている医療機関一覧表またはホームページより医療機関を選んでください。

**Step 2 電話で申し込む**  
ご希望の医療機関に直接電話でお申し込みください。

特定健診を10月31日までに受診できない場合は、本通知についているはがきで集団健診の申し込みができます。  
【申込】令和2年11月16日(月)まで ※先着順  
【会場】小平市健康センター  
11月18日(火) 11月19日(水) 11月20日(木) 11月21日(金) 11月22日(土)  
【受付時間】9:00~11:30 ※各所定員150名

**集団健診申込はがき**  
以下の空欄に必要な事項を記入してください。  
※実施健診は、健康センターを会場とする集団形式の健康診査となります。  
※新型コロナウイルス感染症の影響により、変更または中止となる場合があります。  
また、実施日・実施時間については、ご都合に合わない可能性がありますので、確実に受診ができる特定健診(個別)をご利用ください。  
※実施健診を受診されない方も、アンケートにご協力をお願いします。

**小平市の特定健診**  
年に一度の健康診断です。  
小平市の国民健康保険加入者の方は必ず受けてください。  
**大切なお知らせ**  
新型コロナウイルス感染症の影響により、受診期間等が変更または中止となる場合があります。  
最新の情報は、市のホームページでご確認ください。

**特定健診の受診率向上のためにアンケートにご協力をお願いします**  
10月31日(土)までの特定健診を受診できない理由を教えてください。  
(☑をしてください)  
忙しい 予約が取れない 定期的に受診中  
人間ドックを受診 職場の検診を受診  
新型コロナウイルス感染症が心配 その他( )

**小平市の特定健診**  
かかる時間 = 約1時間※  
かかる費用 = 0円※  
病気の兆候を発見する検査がまとめて受けられます。

アンケート欄を設け、10月31日までに特定健診を受診できない理由を調査した。

## ●実施状況及び評価

	日程	曜日	予定受診者数 (人)	当日受診者数 (人)	受診率 (%)
1日目	1月12日	火	168	115	68.5
2日目	1月25日	月	163	108	66.3
3日目	1月30日	土	161	123	76.4
4日目	2月6日	土	160	117	73.1
5日目	2月13日	土	154	115	74.7
合計			806	578	71.7
目標値及び目標達成率				600	96.3

※一日当たり定員は150人。

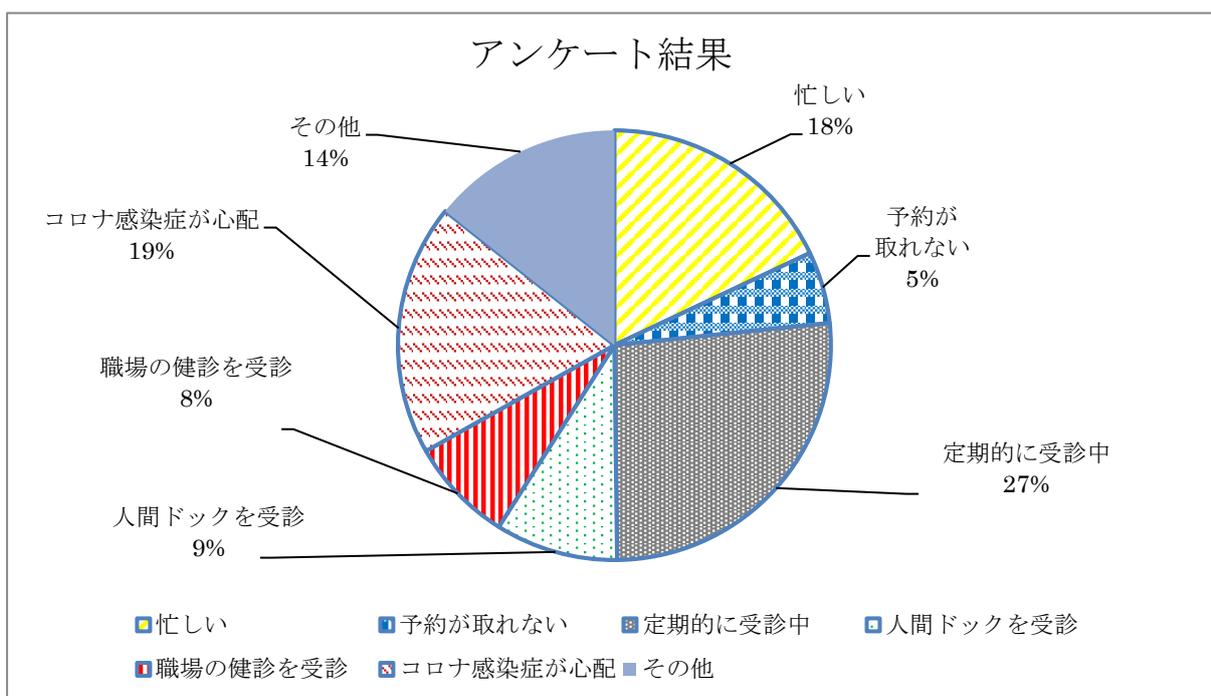
集団健診実施日に新型コロナウイルス感染症対策に伴う緊急事態宣言が発令されていたが、市としては、市内の感染状況を確認しつつ感染防止対策を行い、集団健診を実施した。

健診の受診により病気の早期発見・早期治療を促すために受診勧奨を行ったが、受診日によっては欠席者が多い日もあり、目標とする集団健診受診者数を達成することができなかった。

また、特定保健指導の対象となる可能性が高い方に特定保健指導等の利用勧奨を行った。

## ●アンケートの実施

特定健診受診勧奨通知及び集団健診申込書の返信はがきにアンケート欄を設けており、10月31日までに特定健診を受診できない理由を調査した。1,088人から回答を得た。



※令和2年11月末集計

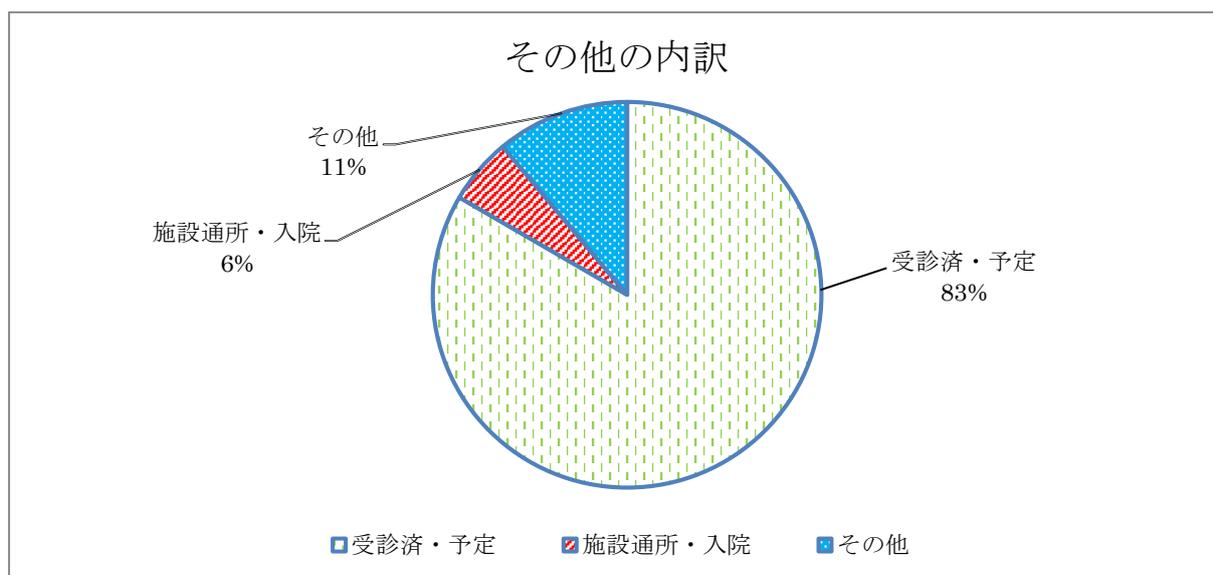
※アンケートは複数回答可

アンケート結果では、10月末までに特定健診を受診できない理由として、「定期的に受診中」を挙げる人が最も多かった。また、2番目に多い理由としては、「コロナ感染症が心配」であった。3番目に多い理由が「忙しい」で、4番目に「その他」、5番目に「人間ドックを受診」、6番目に「職場の健診を受診」が続き、最後は「予約が取れない」が続いた。

新型コロナウイルス感染症を心配され受診を控えられている方が多いため、自身の身体状況を総合的に確認できる機会を減らされないように健診の重要性をアピールし受診に繋げたい。

また、アンケートで「職場の健診を受診」・「人間ドックを受診」と回答があった方で人間ドック等利用費補助未申請者65人及び職場の健診結果未提出者145人に対し、12月に申請勧奨を行った。うち令和2年度中に申請のあった方は人間ドック等利用費補助41人、職場の健診結果提出10人で、一定の効果があったと考えられる。

なお、アンケートのうち、「その他」として回答があり、自由記述欄に記載のあった内容は次のとおりである。



内訳としては「受診済・予定」の回答が最も多く、続いて「施設通所・入院」となった。

### 1-3 人間ドック助成

#### ●事業内容

30歳以上の国保加入者が、国内の医療機関で、人間ドックか脳ドックを受診したときは1万円、人間ドック及び脳ドックを受診したとき（人間ドック及び脳ドックの両方の検査項目がすべて含まれる検査を受診したとき）は2万円を補助した。

市報・国保だより特別号・市ホームページ・チラシにより事業の周知を行った。チラシは、保険年金課窓口へ配架するとともに、特定健診の受診書類にも同封している。また、健康ポイント事業参加者にも測定会時に周知を行った。

昨年度まで助成件数は増加傾向にあったが、今年度は昨年度の853件よりも大幅に申請数が減少した。新型コロナウイルス感染症の影響による受診控えがあったことが想定される。

#### ●助成件数及び評価

人間ドック（件）	脳ドック（件）	人間ドック+脳ドック（件）	合計（件）	目標達成率（%）
455	27	128	610	
目標値及び目標達成率			600	101.7

### 1-4 職場の健診結果提出

#### ●事業内容

令和元年度から、特定健診の対象者が、市の特定健診を受診せずに職場等で健康診断を受診した場合にその健診結果を特定健診の結果として代えることができる事業を実施している。

職場等で受診した健康診断の結果を提出された方に小平市指定収集袋（有料ごみ袋）を進呈した。

市報・国保だより特別号・市ホームページ・チラシにより周知を行った。チラシは、保険年金課窓口へ配架するとともに、特定健診の受診書類にも同封している。また、健康ポイント事業参加者にも測定会時に周知を行った。

#### ●提出件数

令和2年度の提出件数は、87件であった。

---

## 1 特定健康診査の今後の方向性

---

特定健診受診率向上に向けて、対象となる被保険者に対する勧奨通知の送付を中心に行った。通知内容については、東京都国民健康保険団体連合会の保健事業支援・評価委員会による指導や他市の事例、委託業者のノウハウを活用し、見直しを図った結果、高い効果を得ることができている。

また、令和元年度から新たに職場の健診結果提出事業を行っている。本事業は、集団健診申込はがきに記載したアンケート欄の内容に基づいて開始したものである。新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で受診控えが起こっているが、職場の健診結果の提出件数は昨年度よりも増加しており、今後も様々な方法で健診の受診勧奨を行っていく。

特定健診の受診率は、令和5年度の目標値の60%（令和元年度法定報告値は51.4%）には達していない状況から、既存の受診勧奨事業に加え、新たなアプローチについて引き続き研究していく必要がある。

## 2 がん検診

### ●事業と目標

実施事業・事業概要・目的	対象	目標	
		事業実施量(アウトプット)	結果(アウトカム)
2 がん検診 がんの早期発見・早期治療を図るために検診を実施します。	対象年齢の市民	-	受診率 胃がん 10% 肺がん 10% 大腸がん 30% 子宮頸がん 25% 乳がん 25%

健康増進法の規定に基づき、胃がん、子宮頸がん、乳がん、肺がん、及び大腸がん検診を実施している。がん検診の対象者や実施方法等については、「がん予防重点教育及びがん検診実施のための指針」(国の指針)において規定されており、市ではおおむね国の指針に従って各がん検診を実施している。

なお、東京都において、区市町村が実施するがん検診の受診率の算出に当たり、対象年齢の住民のうち、職場や人間ドック等でがん検診の受診機会がある人と、入院や療養中等で検診を受診できない人を除いた割合(対象人口率)を算定しており、これを用いて本市における各がん検診の受診率を算定している。

### ●受診件数及び評価

検診名	対象年齢	対象人口 (人)	対象者数 (人) A	受診者数 (令和2年度) (人) B	受診者数 (令和元年度) (人) C	受診率 (令和2年度) (%) (B+C)/A*100	目標率 (%)	目標 達成率 (%)
胃がん	40歳以上	112,913	57,924	1,723	-	3.0	10	30.0
肺がん	40歳以上	112,913	62,780	2,464	-	3.9	10	39.0
大腸がん	40歳以上	112,913	63,457	14,770	-	23.3	30	77.6
子宮頸がん	20歳以上	82,287	49,290	2,991	3,416	13.0	25	52.0
乳がん	40歳以上	58,984	37,809	2,833	3,384	16.4	25	65.6

### ●対象年齢

健康増進法に基づく年齢を対象としている。したがって、小平市で実施している胃がん、大腸がん検診での35歳から39歳まで、乳がん検診での30歳から39歳までについては、受診率の算定基準としていない。

### ●対象者数

令和2年4月1日現在の人口に対象人口率(次項の表参照)を乗じて算定している。

### ●受診率(子宮頸がん・乳がんについて)

隔年での受診のため、受診率は2年分の受診者数から算定している(令和2年度は、令和元年度の受診者数に令和2年度の受診者数を加算した数)。

区部・市町村部別対象人口率表

(単位：%)

	胃がん検診	肺がん検診	大腸がん検診	子宮頸がん検診	乳がん検診
区部	52.2	55.1	55.3	56.7	59.5
市町村部 (島しょを除く)	51.3	55.6	56.2	59.9	64.1
東京都全体	51.9	55.3	55.6	57.8	61.1

&lt;データ抜粋資料&gt;

東京都福祉保健局発行

「令和2年度健康増進法に基づくがん検診の対象人口率等調査報告書」

---

## 2 がん検診の今後の方向性

---

がん検診については、市報や市ホームページによる広報のほか、こだいら健康ガイドを全戸配布することにより周知を図った。

令和2年度の受診率は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い受診控え等が影響し、令和元年度と比較して、胃がんが0.9ポイント、肺がんが1.9ポイント、大腸がんが0.2ポイント、子宮頸がんが0.5ポイント、乳がんが1.5ポイント低下した。

令和2年度における市民への個別の受診勧奨としては、61歳を迎える市民を対象に肺がん検診の受診勧奨リーフレットを送付したほか、41歳を迎える女性に乳がん検診無料クーポン券を、21歳を迎える女性に子宮頸がん検診無料クーポン券を送付した。

令和3年度からは、新たな取組みとして、がん検診受診勧奨案内リーフレットを作成し、秋期検診の申込みに合わせて全戸配布を行うことで、市民への周知とより一層の受診率向上を図る。

今後においても、国が示す「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」に基づき、原則として科学的根拠に基づくがん検診（胃がん、肺がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がん）を推進するとともに、がんを予防するための正しい健康意識の普及・啓発を図っていく。

### 3 健診異常値放置者受診勧奨

#### ●事業と目標

実施事業・事業概要・目的	対象	目標	
		事業実施量(アウトプット)	結果(アウトカム)
3 健診異常値放置者受診勧奨 生活習慣病関連の検査項目に異常値があるにも関わらず医療機関への受診が確認できない対象者に受診勧奨を行います。	健診異常値未治療者	勧奨通知送付回数 年1回	勧奨後の受診者率 20%

#### ●事業内容

健診異常値を放置している対象者の医療機関受診を目的とし、特定健康診査の受診後、その結果に異常値があるにも関わらず医療機関受診が確認できない対象者を特定し、通知書を送付することで受診勧奨を行った。

令和2年度では通知書の内容を見直し、対象者に対して、どの数値が悪く治療が必要であるかをより分かりやすく記載するとともに、他の健診受診者の医療機関受診状況を記載した。

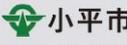
#### 【送付した通知文書】

料金別納郵便

---

医療機関受診勧奨通知書

小平市からの  
重要なお知らせ

 小平市

小平市 健康福祉部 保険年金課  
〒187-8701 小平市小川町2-1333 電話:042-346-9529

**OPEN** 詳しい内容は中面をご覧ください

生活習慣病に関する受診または治療を開始されていないと思われる方にお送りしています

昨年度の健診結果が  
**受診または治療が必要な値**です。

検査項目	受診または治療が必要な値	あなたの該当項目
高血圧 (一つでも該当)	収縮期 140以上	
	拡張期 90以上	
高血糖 (一つでも該当)	HbA1c 6.0以上	
	空腹時血糖 110以上	
脂質異常 (一つでも該当)	HDLコレステロール 39以下	
	LDLコレステロール 140以上	
	中性脂肪 300以上	

※令和元年度の小平市健診結果より

受診または治療を開始されていない場合、あなたの健康を損なうおそれがあります。  
早めに**医療機関を受診**してください。

このままの状態を放置しておくと

**血管がダメージを受けて  
動脈硬化が進行し、  
心筋梗塞や脳卒中の  
発症リスクが高まります**



さらに、高血糖の場合は、**糖尿病性腎症**などの合併症のリスクが高まります。

**重要なお知らせです**

必ず開いてお読みください  
(表裏どちらも開きます)

**OPEN** 詳しい内容は中面をご覧ください

生活習慣病に関する受診または治療を開始されていないと思われる方にお送りしています

昨年度の健診で、受診結果に  
治療が必要な数値があった方のうち

**約7割※の方が  
すぐに治療を始めています**



このまま放置して重症化すると、  
定期的な通院治療が必要になります。  
早めに**医療機関を受診**してください

※小平市の平成30年度特定健診の結果、血圧値が受診勧奨判定値以上の方

医療機関受診のステップ

Step 1

医療機関へ行く日を決める

月 日

Step 2

医療機関へ予約または受診する

当日の持ち物

①保険証  
②本通知書 または 最新の健診結果

### ●対象者の抽出方法

令和元年度の特定健診の受診者で、平成31年4月から令和2年6月の診療のうち、生活習慣病に係る医療機関の受診の確認ができず（生活習慣病関連のレセプトがない）、健診の結果に異常がある人に対して通知書を送付することで、受診勧奨を行った。

### ●勧奨通知の送付の状況

令和2年度は、勧奨通知の送付件数を400件から800件に増やし、令和2年9月9日に800件送付した。

### ●事業評価

医療機関受診率

通知者数 (人)	治療開始者数 (人)	医療機関受診率 (%)	目標値 (%)	目標達成率 (%)
800	136	17.0	20	85.0

治療開始者数…通知者（対象者）のうち、令和2年7月から令和2年12月の期間に生活習慣病に関連する治療を医療機関で開始した人数。

通知者数の800人のうち、136人が通知送付後に、はじめて生活習慣病に係る医療機関の受診が認められた。

---

## 3 健診異常値放置者受診勧奨事業の今後の方向性

---

健診異常値放置者受診勧奨事業については、令和2年度から勧奨通知の送付件数を400件から800件に増やし実施した。

通知送付後の医療機関受診率は令和元年度と比べて1.3ポイント向上したものの、目標値とする受診率20%には達しなかった。

ただし、通知の文書内容を見直したことにより、令和元年度よりも受診率を向上させることができている。

次年度以降も引き続き、効果的な通知の文書内容を検討し、更なる受診率向上に努めていく。

## 4 特定保健指導

### ●事業と目標

実施事業・事業概要・目的	対象	目標	
		事業実施量(アウトプット)	結果(アウトカム)
4 特定保健指導 生活習慣改善のための指導を実施します。	特定保健指導対象者	-	①実施率 令和5年度までに60% ②特定保健指導対象者減少率 25%(平成20年度比)

40歳から74歳までの小平市国民健康保険加入者で特定健康診査を受診した者のうち、厚生労働省が定めるメタボリックシンドロームに関する階層化基準が「積極的支援」または「動機付け支援」に該当した者に、特定保健指導を委託および直営にて実施した。

また、特定保健指導の対象外であるが、検査数値が受診勧奨に該当する受診者に電話や手紙によるフォローを実施し、生活習慣病の予防や重症化予防に取り組んだ。

### ●特定保健指導（委託・直営）支援形態

- ・積極的支援…面談（初回面談1回）、電話支援（2回）、手紙支援(3回)  
結果評価アンケート（3か月後）
- ・動機付け支援…面談（初回面談1回）、電話支援（1回）  
結果評価アンケート（3か月後）

### ●初回面接実施状況

※委託先の保健師等による保健指導を希望しない等の対象者は市職員が直営で特定保健指導を実施した。

令和2年12月から令和3年3月31日までの初回面談実施状況

（令和2年度対象者のうち、当年度中に面談を実施した数）

#### 【積極的支援】

年度	対象者（人）	委託実施者（人）	直営実施者（人）	合計（人）	実施率（%）
2年	347	61	6	67	19.3

#### 【動機付け支援】

年度	対象者（人）	委託実施者（人）	直営実施者（人）	合計（人）	実施率（%）
2年	1,131	236	24	260	22.9

### ●集団健診結果相談会

集団健診受診者を対象に、健診結果についての個別相談会を予約制で実施した。健診結果と相談内容に応じて、保健師や管理栄養士が食事や運動等の保健指導、受診勧奨等を行った。

日程	参加人数
3/16, 19, 22	8人

### ●特定保健指導セミナー実施状況

令和2年度は、生活習慣改善のモチベーション維持、意識づけを図る目的で、特定保健指導初回面談利用者と未利用者も参加できるセミナーを実施した。管理栄養士による食生活改善のポイントや、健康運動指導士による運動のポイントなどを講義・実践形式で伝えた。

(各回90分、定員15名)

日 程	参加者(人)
2月16日	12
2月26日	8
3月21日	7
3月28日	8
4月12日	10
合計	45

### ●特定健康診査フォロー

特定健康診査受診者のうち保健指導判定が「情報提供」で、特に受診の必要がある治療域の対象者に、電話及び手紙による受診勧奨及び相談を実施した。

内容	40～64歳	65歳以上	件数合計
電話支援	101	206	307
手紙支援	76	82	158
合計	177	288	465

	指導者別相談件数
保健師	303
栄養士	6
合計	309

### ●広報活動、その他

- ・健診結果の見方とメタボリックシンドロームに関する情報提供紙「健診結果活用ガイド」を2万部作成し、各医療機関を通して健康診査を受診した市民へ配布した。
- ・健診結果の見方とメタボリックシンドローム対策に関する情報提供紙「健診結果活用ガイド」を2万部作成し、特定健診と人間ドックを受診した市民に配布して文章による健康教育を行った。
- ・対象者の手持ちのオンライン端末で初回面談が可能となるICT面談の導入を開始した。
- ・肺がん検診に来所した市民に対し、特定健診・特定保健指導と生活習慣病予防に関するリーフレットを配布し、普及・啓発を行った。
- ・健康センター事業やがん検診等に来所した市民のうち、特定保健指導対象で特定保健指導未利用となっている方に特定保健指導の利用勧奨を行った。
- ・集団健診受診者のうち、当日時点で特定保健指導の対象となる可能性の高い方に、その場で特定保健指導の利用勧奨と初回面談予約の受付を行った。また、当日の血圧が高値だった方に保健師による再測定と個別相談を行った。
- ・集団健診受診者に対し、保健師及び管理栄養士が健診結果の説明及び保健指導、健康相談を実施した。

---

#### 4 特定保健指導の今後の方向性

---

特定保健指導については、昨年度に引き続き、案内通知の内容及びデザインの検討・作成、がん検診や事業実施時に、来所者に特定健診・特定保健指導に関するチラシ配布と、特定保健指導対象者への直接の声掛けの実施、集団健診時に特定保健指導対象に該当する可能性の高い方への面談予約の受付を行った。

また、令和2年度からはICT面談の導入を行った結果、令和元年度より初回面談実施率の向上がみられた。

しかし、令和元年度の実績でも、目標としている実施率及び指導対象者減少率には満たない状況であることから、今後も利用率向上のための取り組みについて、情報収集および研究を継続していく。

## 5 糖尿病重症化予防指導

### ●事業と目標

実施事業・事業概要・目的	対象	目標	
		事業実施量(アウトプット)	結果(アウトカム)
5 糖尿病重症化予防指導			
重症化予防プログラム 糖尿病患者のうち、糖尿病関連の検査項目値や治療状況から選定して対象者に対して、専門職が6カ月の面談指導と電話フォローを実施します。	糖尿病性腎症患者	指導実施者数 30人	①人工透析移行者数 0人 ②HbA1cの値を0.2%削減
重症化予防プログラム未参加者への受診勧奨 プログラムに参加せず、なおかつ医療機関への受診が確認できない対象者に受診勧奨を行います。	医療機関未受診者	勧奨通知送付回数 年1回	送付後の受診率 100%

### 5-1 重症化予防プログラム

#### ●事業内容

被保険者の糖尿病性腎症の重症化予防を目的とし、特定健康診査の検査値とレセプトの治療状況から対象者を特定し、専門職より対象者個人に6か月間の面談指導と電話指導を行った。指導内容は、食事指導・運動指導・服薬管理等とし、指導完了後も自立して正しい生活習慣を持続できるように日常に根付いたものとした。

#### ●対象者の抽出

平成31年4月～令和2年2月診療分(11か月分)のレセプトデータと令和元年度の健診データを使用し、抽出を行った。

重症度	【参考】想定する糖尿病性腎症病期	合計人数 (実人数)
↑ 高 重症度 低 ↓ 1 重症度① ・eGFR 15以上～30未満 ・腎不全または糖尿病性腎症第4期	4期 (腎不全期～透析療法期)	0人
2 重症度② ・eGFR 30以上～45未満または尿蛋白(+)以上 ・糖尿病性腎症第2期、3期	2～3期 (早期腎症期～顕性腎症期)	230人
3 重症度③ ・eGFR 45以上～60未満 ・糖尿病合併症あり(腎症なし)または糖尿病性腎症第1期	1期 (腎症前期)	52人
4 重症度④ ・eGFR 60以上～90未満 ・合併症なし(糖尿病のみ)		0人
5 その他	-	0人
保健指導効果の高い患者数(重症度②+③+④)		282人

## 糖尿病性腎症重症化予防プログラムのご案内

小平市健康福祉部保険年金課

### 糖尿病性腎症重症化予防プログラムとは

糖尿病性腎症重症化予防プログラムは、小平市国民健康保険の被保険者の皆様を対象に、保健師・看護師・管理栄養士の専門資格をもった健康相談員が日常生活の面から皆様を支援させていただきます。糖尿病の重症化を予防し、より健康な生活を送っていただくことを目的としたプログラムです。

生活習慣の改善に必要なさまざまな知識・手法を身につけた健康相談員が、豊富な個別支援の経験をもとに、約6か月間にわたりご支援いたします。

なお、現在、医療機関で糖尿病の治療を受けていらっしゃる場合は、主治医の先生の指導方針に沿って、プログラムを実施させていただきます。

### プログラムの流れ

6か月間のプログラムの流れは以下のとおりです。



健康相談員からは下記の電話番号でご連絡いたします。

**0120-559-870**



初回面談～電話支援～最終面談まで  
同一の健康相談員が担当させていただきます

楽しみながら続けられる情報提供ツールを  
ご利用いただけます

#### 面談



参加者様と健康相談員（専門職）で1時間程度の面談を行います。  
担当相談員から事前にお電話をさしあげたうえで、参加者様のご自宅等に訪問させていただきます。ご家族の方もご同席いただけます。

#### 電話支援&支援レポート



事前もしくは初回面談時にご指定いただくお電話番号に、担当相談員からお電話させていただきます。  
また、お電話でお話した内容をのちほどお手紙にまとめてお送りいたします。

※ 募集案内時に送付したパンフレットから抜粋。

## ●事業参加者の状況

事業対象者の282人にプログラム参加の勧奨通知を送付し、8人の参加があった。

↑ 高  重 症 度  低 ↓	重症度	【参考】想定する糖尿病性腎症病期	合計人数 (実人数)
	1 重症度① ・eGFR 15以上～30未満 ・腎不全または糖尿病性腎症第4期	4期 (腎不全期～透析療法期)	0人
	2 重症度② ・eGFR 30以上～45未満または尿蛋白(+)以上 ・糖尿病性腎症第2期、3期	2～3期 (早期腎症期～顕性腎症期)	7人
	3 重症度③ ・eGFR 45以上～60未満 ・糖尿病合併症あり(腎症なし)または糖尿病性腎症第1期	1期 (腎症前期)	1人
	4 重症度④ ・eGFR 60以上～90未満 ・合併症なし(糖尿病のみ)		0人
	5 その他	-	0人

保健指導効果の高い患者数(重症度②+③+④)	8人
------------------------	----

### 事業参加者の内訳

年齢	男性(人)	女性(人)	合計(人)
45～49	1	0	1
50～54	0	0	0
55～59	0	0	0
60～64	0	0	0
65～69	1	2	3
70～74	1	3	4
合計	3	5	8

## ●指導実施の状況

事業参加者8人がプログラムに参加し、全員がプログラムを終了した。

### 指導実施状況

	初回面談 1回目	電話 2回目	中間面談 3回目	電話 4回目	電話 5回目	最終面談 6回目
10月	7	0	0	0	0	0
11月	1	6	1	0	0	0
12月	0	2	5	2	0	0
1月	0	0	2	5	3	0
2月	0	0	0	1	4	3
3月	0	0	0	0	0	5
合計	8	8	8	8	7	8

## ●事業評価

### 指導後の体重増減【N=8】

		初回体重										合計(人)	
		54以下	55	60	65	70	75	80	85	90	95以上		
最終 増減量	+2kg											2	
	+1kg	1			1								
	0	1	1	1							3		
	-1kg			1									4
	-2kg	1		1		1							
												8	

### HbA1c【N=7】

	初回 (%)	最新 (%)
HbA1c	7.0	6.9

HbA1cとは、血液中のヘモグロビンにブドウ糖が結びついたもので、過去1～2か月の血糖状態を把握できる数値であり、5.5%以下で異常なしである。

指導を受けた7人の平均値は、7.0%から6.9%へ減少している。

## ●プログラム終了後に実施したアンケート結果から

プログラムを受けた主な感想

- ・ 血圧と体重記録管理のメリットをアドバイスしてもらえた。
- ・ 目標を設定したことでやる気になり、生活習慣の見直し・数値の改善・改善した生活習慣の持続につながった。
- ・ 対面で話すことで刺激になり、頑張ることができた。
- ・ ICTを活用した支援があると良いと思った。

指導してもらってよかった点

- ・ 訪問の度に細かい数値を聞かれたので、改善する意欲がわいてよかった。
- ・ 服薬を処方通りに行い、間食を減らして食事を適正に取ることで数値が改善することが実感できてよかった。
- ・ 料理や摂取塩分量の具体的なアドバイスがもらえて参考になった。
- ・ 1人ではなかなか難しかったが事業に参加したことでモチベーションが維持できた。

## ●実施状況及び評価

事業対象者の282人にプログラム参加の勧奨通知を送付し、8人の参加があった。

事業参加者8人がプログラムに参加し、全員がプログラムを終了した。

保健指導の結果、プログラムの前後で、HbA1cの値は改善され、人工透析移行者はいなかった。

## 5-2 重症化予防プログラム未参加者への受診勧奨

### ●事業内容

5-1の事業で抽出した対象者の中で、プログラム未参加者のうち病院での治療を中断している対象者に対し、受診勧奨を行った。

### ●対象者の抽出

5-1の事業対象者282人のうち、プログラム参加者8人を除いた274人の令和2年3月～令和3年1月診療分のレセプトデータを確認し、抽出を行った。

### ●対象者数及び受診勧奨

糖尿病に関する治療を中断していることが確認できた1人に対し、10月に通知を送付した。その後の治療状況を確認し、治療を再開していたことが確認できた。

### 【受診勧奨通知】

小平市から大事なお知らせです。  
**糖尿病の治療を再開しませんか？**

この手紙は、診療報酬明細書（レセプト）を基に、糖尿病の疑いがあり、  
治療を中断されている方にお送りしています。

**Q. 治療をしないとどうなるの？**  
A. 重症化すると、『人工透析』が必要です。  
人工透析は、週3回通院し、1回4時間以上かかります。  
費用は高額になり、ご自身の生活や、家族にも影響が及ぶ場合があります。

**Q. 自覚症状がないから、まだ大丈夫でしょ？**  
A. 糖尿病は自覚症状がないうちに症状が悪化する深刻な病気です。  
早期発見、早期治療がとても大切です。

**Q. しばらく通院していないから病院に行きにくいんだけど。**  
A. 今まで通院していた病院でなくても大丈夫です。  
とにかく受診して早期に治療を再開することが大切です。

**小平市**  
健康福祉部保険年金課国民健康保険担当  
042(346)9529

※今回のご案内は令和2年3月～令和2年8月までの受診状況を元に作成しています。  
令和2年9月以降に治療を再開されている場合はご容赦ください。

---

## 5 糖尿病重症化予防指導の今後の方向性

---

重症化予防プログラム参加者に対して終了後に行ったアンケートでは、概ねプログラム内容が好評で、満足度が高いことがうかがえた。特に月1回の電話もしくは面談による半年間の支援について、丁寧な対応と感じる対象者が多かった。新型コロナウイルス感染症の拡大により対面での面談に不安があるとの声もあったため、令和3年度からICT面談を導入する。

また、新型コロナウイルス感染症の影響で、外出を控える状況にあったことから、プログラムを途中で辞退する人や、プログラム参加前と参加後の体重や検査値(HbA1c)が参加前より悪化する人がいた。

当事業を開始した平成27年度以降、プログラム参加者から人工透析に移行した方が0人という結果は、健康増進及び医療費の適正化の観点から大きな成果と思われる。

今後は、目標とするプログラム参加者30人を達成するためにも、糖尿病性腎症重症化予防に関するパンフレット配布など、重症化予防の重要性に関する啓発活動をすすめていく。

## 6 多受診者指導

### ●事業と目標

実施事業・事業概要・目的	対象	目標	
		事業実施量(アウトプット)	結果(アウトカム)
6 多受診者指導 重複受診者、頻回受診者、重複服薬者に対して面談指導と電話フォローを実施します。	重複受診者 頻回受診者 重複服薬者	指導実施者数 50人	指導後の受診行動適正化率 100%

### ●事業内容

病状、治療、服薬等の状況から、家庭でのより良い生活支援のため、健康づくり、療養のしかた、医療機関や福祉のサービスの利用方法などについての相談や情報提供、アドバイスをを行うための保健師等による家庭訪問相談に関する案内文をお送りし、その後、健康の保持・増進に向けた情報提供や指導を、訪問と電話により行った。

### ●対象者の抽出方法

重複受診、頻回受診、重複服薬がみられる者を、対象者として特定した。

#### 【重複受診、頻回受診、重複服薬の選定基準】

重複受診… 1 か月間に同系の疾病を理由に 3 医療機関以上を受診する。

頻回受診… 1 か月間に同一の医療機関に 8 回以上受診する。

重複服薬… 1 か月間に同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、処方日数が 60 日を超える。

### ●実施状況

令和 2 年度の対象者は 475 人で、事業参加の勧奨通知の送付と電話勧奨を行い、47 人の方が参加した。

対象者の状況 (475 人)

指導対象項目	人数 (人)	総数 (人)
重複受診	30	475
頻回受診	293	
重複服薬	135	
重複受診+頻回受診	8	
頻回受診+重複服薬	7	
重複受診+重複服薬	2	
重複+頻回+服薬	0	

年齢	男性（人）	女性（人）	合計（人）
20～29	0	0	0
30～39	18	8	26
40～49	13	17	30
50～59	19	41	60
60～69	44	94	138
70～74	85	136	221
合計	179	296	475

### ●事業参加者の状況

参加者の状況（47人）

指導対象項目	人数（人）	総数（人）
重複受診	2	47
頻回受診	26	
重複服薬	16	
重複受診＋頻回受診	1	
頻回受診＋重複服薬	2	
重複受診＋重複服薬	0	

年齢	男性（人）	女性（人）	合計（人）
20～29	0	0	0
30～39	0	1	1
40～49	1	1	2
50～59	2	2	4
60～69	1	8	9
70～74	10	21	31
合計	14	33	47

### ●指導実施の状況

参加者の支援状況（48人）

指導実施者（人）	
面談	電話
47	43

### ●事業評価

#### 1 指導実施率

対象者（人）	実施者（人）	実施率（%）
475	47	9.9%

## 2 指導完了後の受診行動適正化率

指導対象項目	指導実施者(人)	資格喪失者(人)	指導後の効果を把握した人数(人)	指導後の改善により選定基準に該当しなくなった人数(人)	指導完了後の受診行動適正化率(%)
重複受診	3	0	3	3	100
頻回受診	29	0	29	25	86.2
重複服薬	18	1	17	14	82.4
合計	47	1	46	39	84.8

- ・事業対象者は475人で、事業参加の勧奨通知の送付と電話勧奨を行い、複数の指導対象項目に該当している者を含む47人の参加があった。指導実施率は、9.9%であった。
- ・指導実施者47人の内1人は支援途中で国保の資格を喪失したため、支援を中断した。
- ・指導後の効果を把握した者46人のうち、39人が指導後の改善により選定基準に該当しなくなり、指導完了後の受診行動適正化率は、84.8%であった。

---

## 6 多受診者指導の今後の方向性

---

多受診者指導については、事業対象者の多い60歳から74歳までの年齢層に指導参加者が多く、効果的に事業が実施できた。特に、重複受診については、指導後の受診行動改善率が100%であり、効果が見られた。指導実施率は9.9%であり、令和元年度より0.1ポイント上昇した。

指導実施後の受診行動適正化率は、重複受診の適正化率は向上したものの、頻回受診及び重複服薬の適正化率が低下し、全体として84.8%となり、令和元年度の91.7%より6.9ポイント減少した。

指導実施対象者数の目標50人をほぼ達成していることから、今後もより多くの方に相談していただけるように取り組んでいく。

## 7 ジェネリック医薬品差額通知

### ●事業と目標

実施事業・事業概要・目的	対象	目標	
		事業実施量(アウトプット)	結果(アウトカム)
7 ジェネリック医薬品差額通知 先発医薬品の利用者のうち、ジェネリック医薬品通知により医療費の削減が見込まれる対象者へ送付します。	軽減額が一定以上となる被保険者	-	ジェネリック医薬品使用割合 平成30年度から令和2年度末までの間のなるべく早い時期に80%以上

### ●事業内容

ジェネリック医薬品の普及率向上を目的とし、レセプトから、ジェネリック医薬品の使用率が低く、ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者に通知書を送付することで、ジェネリック医薬品への切り替えを促す。通知書の内容は、先発医薬品からジェネリック医薬品へ切り替えることで、どのくらい薬剤費が軽減できるか、ジェネリック医薬品とは何か等の情報を記載した。

### ●対象者の抽出方法

ジェネリック医薬品への切り替えにより薬剤費軽減額が1000円以上の対象者のうち軽減額が高い順に抽出した。

### ●通知の送付の状況

令和2年度

送付月	6月	7月	8月	9月	10月
送付件数(件)	977	928	922	896	661
送付月	11月	12月	1月	2月	3月
送付件数(件)	885	773	744	801	548

年間合計送付件数(件)	8,135
-------------	-------

### 【ジェネリック医薬品差額通知】

番号 1234567890

### お薬代負担軽減のご案内

国保 一部 様  
令和2年2月処方分  
**を、現在よく流通しているジェネリック医薬品に切り替えた場合、お薬代の負担が**  
(2月時点での負担割合です)

1,900円～

軽減されます。

軽減できる金額は処方内容によって異なる場合があります。

令和2年2月分の処方実績					※お薬は、複数月分を処方されていることもあります。	
医療機関・薬局区分	薬品名	お薬の単価	数量	単位	お薬代(3割負担)	軽減できる金額
薬局	キネダック錠50mg	78.5	84.0	錠	1,970	1,130～
	メパロチン錠10・10mg	61.4	24.0	錠	440	250～
	ノルバスクOD錠5mg	38.0	24.0	錠	270	160～
	<b>小計</b>				<b>2,680</b>	<b>1,540～</b>
薬局	オパルモン錠5μg	41.8	63.0	錠	790	260～
	ミオニール錠50mg	13.6	63.0	錠	250	140～
	<b>小計</b>				<b>1,040</b>	<b>400～</b>
	<b>合計</b>				<b>3,720</b>	<b>1,940～</b>

※1 薬品名とは  
処方されたお薬(先発医薬品)の名称です。医療機関・薬局ごとに記載しています。

※2 お薬代とは  
当月にかかったお薬代です。(お薬代のみを記載で、実際にお支払いになった金額と異なる場合があります。)

※3 軽減できる金額とは  
処方されたお薬をジェネリック医薬品に切り替える事によって軽減できる金額の目安です。

**ご注意ください**  
 ●本明細は、医療機関・薬局の過去の請求データに基づいて作成されています。本明細に記載されない場合は、軽減効果が大きい順に記載しています。  
 ●国や市町村から医療助成を受けている場合、実際の変払額と異なる場合があります。  
 ●ジェネリック医薬品は1つの先発医薬品に対して複数存在する場合があります。実際の軽減額には差があります。  
 ●上記に記載する薬品名には、がんその他特殊疾病に使用されるお薬、経理処方のお薬については除外しています。  
 ●お薬差額とジェネリック医薬品差額は有効成分は同一ですが、製剤によって効き目や副作用などは異なる場合があります。詳しくは医師・薬剤師にご相談ください。

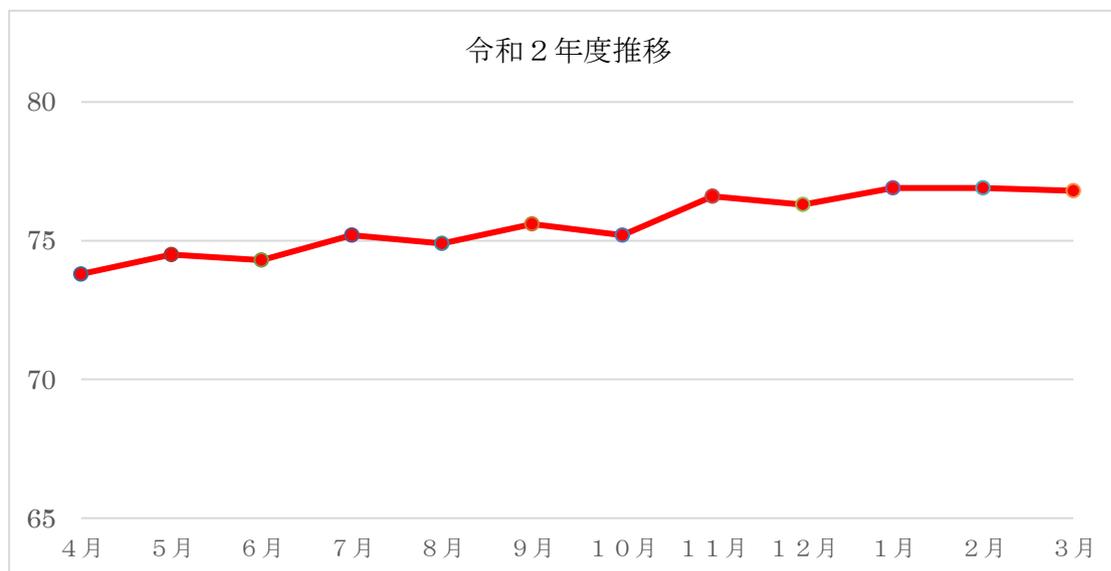
## ●事業評価

ジェネリック医薬品普及率（数量ベース）

診療月	R 2年 4月	R 2年 5月	R 2年 6月	R 2年 7月
普及率 (%)	76.8	77.1	76.7	78.0
診療月	R 2年 8月	R 2年 9月	R 2年 10月	R 2年 11月
普及率 (%)	77.6	77.4	77.5	78.3
診療月	R 2年 12月	R 3年 1月	R 3年 2月	R 3年 3月
普及率 (%)	78.3	78.8	78.6	78.5

令和2年4月～令和3年3月診療分における 平均ジェネリック医薬品普及率 (%)	77.8
--	------

ジェネリック医薬品普及率 (%) の推移



- ・令和2年4月～令和3年3月診療分におけるジェネリック医薬品普及率は、77.8%となった。
- ・令和2年6月から令和3年3月までの10回、延べ8,135人に通知を行った。

## 7 ジェネリック医薬品差額通知の今後の方向性

ジェネリック医薬品差額通知については、ジェネリック医薬品普及に一定の効果が確認できた。次年度以降も、引き続き事業を同内容で実施するとともに、ジェネリックシールの配布や市報等の広報活動を通じて、目標値の80%に向けてジェネリック医薬品の普及に取り組んでいく。

## 8 第二期データヘルス計画の実績

	対象	事業評価	目標	実績	実績	実績
				1年目 平成30年度 (2018)	2年目 令和元年度 (2019)	3年目 令和2年度 (2020)
<b>1 特定健康診査</b>						
1-1 特定健康診査受診勧奨 (通知送付)	①40歳の新規特定健診対象者から抽出 ②40～60歳代のうち前年度特定健診未受診者	事業実施量 (アウトプット)	勧奨通知送付回数 年1回	勧奨通知送付回数 年1回	勧奨通知送付回数 年1回	勧奨通知送付回数 年1回
		結果 (アウトカム)	送付後の受診率 20%	①26.7% ②12.2%	①21.6% ②51.7%	①27.6% ②49.8%
1-2 集団健診	40～74歳の被保険者	事業実施量 (アウトプット)	勧奨通知送付回数 年1回	勧奨通知送付回数 年1回	勧奨通知送付回数 年1回	勧奨通知送付回数 年1回
		結果 (アウトカム)	受診者数 600人	受診者数 561人	受診者数 652人	受診者数 578人
1-3 人間ドック助成	30歳以上の人間ドック受診者	事業実施量 (アウトプット)	申請件数 600件	申請件数 720件	申請件数 853件	申請件数 610件
		結果 (アウトカム)	-	-	-	-
<b>2 がん検診</b>						
がん検診	対象年齢の市民	事業実施量 (アウトプット)	-	-	-	-
		結果 (アウトカム)	受診率 胃がん 10% 肺がん 10% 大腸がん 30% 子宮頸がん 25% 乳がん 25%	受診率 胃がん 4.2% 肺がん 6.1% 大腸がん 24.4% 子宮頸がん 13.0% 乳がん 17.1%	受診率 胃がん 3.9% 肺がん 5.8% 大腸がん 23.5% 子宮頸がん 13.5% 乳がん 17.9%	受診率 胃がん 3.0% 肺がん 3.9% 大腸がん 23.3% 子宮頸がん 13.0% 乳がん 16.4%
<b>3 健診異常値放置者受診勧奨</b>						
受診勧奨 (通知送付)	健診異常値未治療者	事業実施量 (アウトプット)	勧奨通知送付回数 年1回	勧奨通知送付回数 年1回	勧奨通知送付回数 年1回	勧奨通知送付回数 年1回
		結果 (アウトカム)	勧奨後の受診者率 20%	勧奨後の受診者率 11.8%	勧奨後の受診者率 16.3%	勧奨後の受診者率 17.0%
<b>4 特定保健指導</b>						
特定保健指導実施	特定保健指導対象者	事業実施量 (アウトプット)	-	-	-	-
		結果 (アウトカム)	令和5年度までに ①実施率 60% ②特定保健指導対象者 減少率 25% (平成20年度比)	①実施率 14.7% ②特定保健指導対象者 減少率 9.4% (平成20年度比)	①実施率 21.6% ②特定保健指導対象者 減少率 13.8% (平成20年度比)	報告時点では 算出できない
<b>5 糖尿病重症化予防指導</b>						
5-1 重症化予防プログラム		事業実施量 (アウトプット)	指導実施者数 30人	指導実施者数 13人	指導実施者数 11人	指導実施者数 8人
		結果 (アウトカム)	①人工透析移行者数 0人 ②HbA1cの値を 0.2%削減	①人工透析移行者数 0人 ②HbA1cの値 0.9%減	①人工透析移行者数 0人 ②HbA1cの値 0.1%減	①人工透析移行者数 0人 ②HbA1cの値 0.1%減
5-2 重症化予防プログラム 未参加者への受診勧奨		事業実施量 (アウトプット)	勧奨通知送付回数 年1回	勧奨通知送付回数 年2回	勧奨通知送付回数 年2回	勧奨通知送付回数 年1回
		結果 (アウトカム)	送付後の受診率 100%	送付後の受診率 0%	送付後の受診率 0%	送付後の受診率 100%
<b>6 多受診者指導</b>						
指導対象者数	重複受診者 頻回受診者 重複服薬者	事業実施量 (アウトプット)	指導実施者数 50人	指導実施者数 50人	指導実施者数 48人	指導実施者数 47人
		結果 (アウトカム)	指導後の 受診行動適正化率 100%	指導後の 受診行動適正化率 88%	指導後の 受診行動適正化率 91.7%	指導後の 受診行動適正化率 84.8%
<b>7 ジェネリック医薬品差額通知</b>						
ジェネリック医薬品普及率	軽減額が一定以上となる被保険者	事業実施量 (アウトプット)	-	-	-	-
		結果 (アウトカム)	ジェネリック医薬品 使用割合平成30年度から 令和2年度末までの なるべく早い時期に 80%以上	平成30年度 平均ジェネリック 医薬品普及率 72.5%	令和元年度 平均ジェネリック 医薬品普及率 75.6%	令和2年度 平均ジェネリック 医薬品普及率 77.8%

※ 実績値については、令和3年9月現在で把握している数値を記入している。